

発電用に供する木質バイオマスの証明された木材・木製品の取扱実績取りまとめ

(令和 7年 7月23日現在)

令和6年4月1日～令和 7年3月31日

令和 6年度	素材生産業者・原木市場・製材業者の方							チップ製造業者・製材業者でチップ販売の方									
	伐採量または入荷量(㎡)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	出荷量				原材料入荷量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	チップ出荷量				原材料在庫量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材
				発電用チップ加工向け(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	発電以外(㎡)				発電所向け(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	その他向け(トン)			
9 4 社中 7 6 社分	319,426	87,910	53,526	65,055	43,475	20,017	60,152	258,391	135,915	112,799	162,466	115,814	40,352	57,822	15,972	9,706	5,820

コメント	報告書の提出は76社で例年と比べ報告率が著しく低下しています。 素材の入荷（伐採）量は昨年度とほぼ同じですが、未利用材及び一般材共に前年度と比べ大きく減少ししています。 また、発電用チップ加工向けの出荷量は65千トンで対前年159%と大きく増加しています。 うち未利用材については43千トンで対前年度比171%と大きく増加し、一般材でも20千トンと約8千トン（対前年比164%）と増加しました、また、発電以外では約6千トンの減少となりました。 なお、県内には当会以外の団体に認定を受けた事業者（森林組合など）があり、その数字はここに反映されていません。 また、この数字は入荷量、出荷量とも素材生産業者と市場や製材のダブル計上が多く存在します。	原材料入荷量は対前年度比128%と増加しています。 ただし、原材料入荷量は当会の認定でない者（全チ連や県森連のように他の認定団体の認定者）からの入荷もあり、入荷量の増減は明確ではありません。 対前年度比では、原材料入荷量258千トン(対前年度比128%)と増加していますが、発電所向けチップ出荷量は162千トン（対前年度比58%）と120千トンも減少しています。しかし、原木を含め多くを他県から入れている状況に変わりはありません。
------	---	--

※昨年度末時点で原材料、出荷品の在庫があり、今年度末にも在庫があるため、入荷＝出荷とはならない。

※小数点以下を四捨五入しているため、一致しない部分がある。